

藤田精治 都市計画道路の整備についてお伺いいたします。

都市計画道路は、都市の交通体系の骨格を形づくるとともに、沿線地域の活性化を図る上でも重要な役割を果たすものであります。

この中で、都市計画道路3・3・2号中大野中河内線は、水戸市、ひたちなか市及び那珂町を結ぶ大変重要な環状道路であり、現在、水戸市においては、岩間街道から国道50号までの約2,000メートルの整備が進められており、さらに国道50号、旧スーパーマルカワより国道123号線、袴塚、国道118号に通ずる区間においては茨城県が整備する区間とうかがっておりますが、現在、袴塚から西原、見和、見川に至るこの路線の通過区間沿線地域においては、南北方向の交通体系とともに、高速道路水戸インターチェンジへのアクセス、さらには常磐線を横断する路線が著しく不足しており、このため、県施行の区間があわせて整備されることにより、交通利便性は飛躍的に高まるものと考えられます。

そこで、この県施行区間の整備見通しと、水戸市としての今後の取り組みについてお伺いいたします。

また、都市計画道路3・5・103号自由が丘常磐町線は、国道50号の自由が丘から偕楽園交差点に至る延長約2,240メートルの路線であります。

我が会派の会長であります福島議員が再三質問しておられましたとおり、自由が丘常磐町線は、現在、拠点としての整備が進められている赤塚駅周辺地区及び水戸駅南口地区を結び、常磐・堀原・渡里・石川地区を含めた住民にとっても、これらを一体化させる上で最も重要な路線であります。

さらに、水戸と赤塚の拠点を連携させるとともに、西部地域の活性化を図る上では、常磐大学から赤塚駅までの県道赤塚馬口労線をあわせて整備していくことが必要であると考えます。

都市計画道路3・5・103号自由が丘常磐町線の見通しと、県道赤塚馬口労線の整備について見解をお伺いいたします。

都市計画部長 脇山芳和 都市計画道路についての御質問にお答えをいたします。

まず、都市計画道路3・3・2号中大野中河内線についてであります。本路線は、水戸都市圏における最重要路線の一つといたしまして、水戸市及び茨城県が区間を分担して整備を進めるなど、協力して早期完成を目指しているところであります。

このうち、御質問の国道50号から国道118号までの区間につきましては、茨城県が施行することになってございまして、このため、当該区間の事業着手時期につきまして茨城県に照会いたしましたところ、現段階では未定であります。県において現在施行中の駅南中央通りから都市計画道路3・3・16号梅香下千波線までの区間の進捗を踏まえながら、順次事業化を図りたいとのことでございました。

水戸市といたしましても、現在事業に着手しております国道50号以南の事業推進に努めるなど、国道50号以北の御指摘の区間における事業着手環境を整えながら、引き続き早期整備を要望してまいります。

次に、赤塚駅周辺地区及び水戸駅南口地区を結びます都市計画道路の整備についてであります。

まず、都市計画道路3・5・103号自由が丘常磐町線につきましては、現在までに路線の見直しなどの検討を行ってきたところでございますが、本年度には、沢渡川緑地の整備計画や河川改修計画及び交差道路の計画等との調整を図りながら、交差点構造などの設計作業に着手してまいりたいと考えております。

また、県道赤塚馬口労線につきましても、赤塚駅周辺地区開発とあわせた道路整備の一環といたしまして、この路線のあり方について道路管理者である茨城県との協議を行っているところでございます。

いずれにいたしましても、これら2路線は、市西部における交通の円滑化のために必要な路線といたしまして、引き続き事業化に向け努力してまいります。